

平成29年5月31日
道路局道路交通管理課

官民ビッグデータによる災害通行実績データシステムの運用を開始 ～ETC2.0と民間通行実績データを活用して災害対応を強化～

本日、国土交通省とITS Japanの間で、民間が保有する通行実績データ（7社）の災害時の提供について協定を締結しました。これにより、ETC2.0と民間データの双方を集約した「災害通行実績データシステム」の運用を開始し、災害対応の強化を図ってまいります。

昨年4月に発生した熊本地震においては、ETC2.0の通行実績データとパトロールによる被災確認情報等を用いて、「通れるマップ」を作成・関係機関で共有し、啓開や緊急物資輸送等の災害対応を実施したところです。熊本地震以降、ETC2.0だけではなく、民間（乗用車、タクシー、トラック）が保有するデータも活用することによって、より高密度で高精度な通行実績データを実現するために、民間会社との調整やシステム改修を進めてまいりました。

本日、国土交通省とITS Japanとの間で、「災害時通行実績情報の提供に関する協定」を締結し、ETC2.0と民間データの双方を集約した「災害通行実績データシステム」の運用を開始することになりました。今後は、本システムを活用した災害対応の強化を図ってまいります。

[民間から提供される通行実績データの概要]

- (1) 提供主体： 特定非営利活動法人 ITS Japan
- (2) 協力会社： 本田技研工業(株)、パイオニア(株)、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、富士通(株)、いすゞ自動車(株)、ボルボグループ(UDトラックス(株))
- (3) 対象とする災害
 - ・震度6弱以上(全国)
 - ・震度5強以上(東京都23区内)
 - ・その他大規模災害により道路交通に障害が発生した、またはおそれがある場合
- (4) 対象エリア
災害が発生している地域を含む約80km四方のエリア

問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課 中川、伊藤(内線:37432、37465)

(代表)TEL:03-5253-8111 (課直通)TEL:03-5253-8484 FAX:03-5253-1617

官民ビッグデータによる災害通行実績データシステム

